

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	リカバリーわくわく			
○保護者評価実施期間	令和7年 6月 2日		～	令和7年 6月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数)	12
○従業者評価実施期間	令和7年 6月 2日		～	令和7年 6月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 7月 11日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者が安心して楽しく通所することができている	職員一人一人が利用者に向き合い、安心してリカバリーで過ごせるように意識している 支援スペースは広くはないが、死角が少ないため見守りの目が届きやすい	職員間の連携をさらに強めてチームとして安全な支援が届けられるようにさらに強化を図っていく
2	保護者からの相談や情報共有を密に行い、支援の満足度が高い	送迎時の相談援助や連絡ノートでのやり取りを丁寧に行い、保護者とリカバリー相互の協力関係を構築するよう努めている	保護者からのニーズを吸い上げ、活動内容や支援方法の改善を図り、質の向上を常に目指していく
3	個室を活用し、利用者の状況に合わせた柔軟な支援ができている	2つある個室を使い、お着替えなどではプライバシーの保護、体調不良や感染症対策でのゾーニング、パニック時のクールダウン等様々な使い方ができ柔軟に対応している	活動内容にも個室を活かした工夫をすることで、支援室のスペースが狭い課題を補う

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者間交流や地域交流が行われていない	保護者からのニーズが少ない 地域との繋がりがまだ構築できておらず、管理者(児発管)が支援現場以外の場所に動いていない	保護者参観等の企画を実施する 地域への営業を進め、関係性の構築を目指す
2	防災についての備え、取り組みが不十分であり保護者にも伝わり切れていない	管理者の入れ替わりが頻繁に行われていたため、引継ぎが不十分だった 職員に防災、BCPの浸透ができていない	定期的な避難訓練の実施 BCPの再制定、職員への共有、浸透に努める
3	事業所の環境を活かした活動や独自性のある活動が少ない	支援の内容は充実しているが、他事業所との差別化があまり進んでおらず、売りにできる目玉活動などもまだ確立していない	実験活動が目玉活動の候補として挙げられているため、定着を目指す